

福知山公立大学 2020 年度卒業式・学位授与式 式辞

本日、ここに福知山公立大学を卒業し学士の学位を取得された143名のみなさん、おめでとうございます。

本年も「コロナ禍」の中ですが、昨年とは少し異なり制限付きですがご家族ご親族の方々をお迎えして、ともにお慶びを申し上げることが出来ましたことを喜んでいきます。ただ、ご来賓は昨年同様、設置者である福知山市の大橋一夫市長様お一人にお願いし、ご祝辞を賜りますことになりました。厚く御礼申し上げます。

さて、こうした昨年来の異例の事態の中での最近の私の思いの一端を申し述べてお祝いの言葉とさせていただきます。

近年、国も都道府県・市町村も「安心・安全」という標語をかかげて、政策の重要な柱としています。「コロナ禍」の現状では、この言葉がこれまでになく重みをもって響いてきます。

しかし、この言葉は近年になって初めて登場したわけではありません。歴史的には、人類が近代社会を迎えたその開始の時からこれは掲げられていました。政策としてではなく人びとの基本的な権利として掲げられていたのです。

1776年のアメリカ合衆国の独立宣言では、自由・平等・幸福追求権などと並んで、「人民の安全（原語では safety）」を掲げ、それ等も含めて、「人民を絶対的な専制の下に置くとする意図が明らかであるときには」そういう「政府を捨て去り、自らの将来の安全（原語では future security）のために新たな保障の組織を作ること」が、「人民の権利であり、義務である」とも述べています。

1789年のフランス革命の際の「人間および市民の諸権利の宣言」の中でも、あらゆる政府の目的は、「人の、時効によって消滅することのない自然的な諸権利の保全にある」と述べ、この「諸権利」の中に、自由や圧政への抵抗権などに並んで「安全」を挙げています。

具体的な危険を排除する客観的な「安全」（safety）と、心配や不安がないこと、つまり「将来の安全の確保」（future security）を主体の側から表現した言葉が「安心」と言えると思います。日本語では、一般に security を「安全保障」とも訳し、ともすれば軍事問題と解されますが、そうではなく、「未来の安全の保障」（future security）なのです。

近代世界成立期の「安全」は、政治権力の権力乱用や権利の侵害による脅威から人民の「安全」を保障することに力点が置かれていました。現代世界でもこの脅威からの「安全」の保障は依然として重要な課題の一つであり続けています。

しかし、現代世界は、18世紀には予想もされなかった安全・安心への脅威にさらされています。言うまでもなく、産業革命、とりわけ20世紀後半の人類のあくなき経済成長を目指す営みが生み出した結果が、気候変動から生じる自然環境の破壊、ひいては再生不能とも懸念される生態系や生物多様性の破壊等々、数え切れない問題を表面化させています。

数万年を単位に考える地質年代について、著名なある学者は、今や地球は新たな地質年代「Anthropocene」（アントロポセン）」に入っているときと言います。日本語では「人新世」と書き、「じんしんせい」または「ひとしんせい」と言われています。人類の今までの諸活動が、数千万年前の巨大隕石の落下や火山の大噴火に匹敵するような地質学的な変化を地球にもたらしてしまっていることを表わす新しい用語です。それほどまでに、地球環境は大きくかわってしまっています。新型ウイルスの発生や蔓延もその表れの一つだという人さえいます。

一方、情報技術の急速な発展は第四次産業革命の到来と位置づけられ、広範で急激な新たな技術革新が人類の生産活動や社会生活にかつてない激変とも言える大きな変化をもたらしつつあります。それが人類に大きな恩恵をもたらすことは疑いなくでしょうし、激変した地球環境に対応した人類の営みを可能にする役割を果たすことも期待されていますが、同時に「安全」に対する脅威をもたらしかねない危険もあります。

いたずらに「不安」を掻き立てるためにこんなことを申したのではありません。

卒業していくみなさんに大きな期待を寄せて話しているのです。

私は最近座談会を開き、本日卒業する数人の方と話しました。

この4年間で何を学びましたか、卒業後それをどう活かしますかと尋ねたところ、みなさんがすべて同じことを答えてくれました。「学習は大学だけでなく、卒業後も一生学び続けることです。学びの方法と意欲を身につけました」と。

これほど嬉しいことはありませんでした。そうです。学び続けることが何よりも大切なのです。

人が持っている「安全」「安心」の権利を守り続けるためにも、みなさんは地域に根ざしつつ世界に目を向けた学びを続けてください。その世界の未来を見据えた問題の大きな枠組みを話したつもりです。繰り返します。みなさんの権利「安全」「安心」を守るためにも学び続けてください。

みなさんへの大きな期待を込めて贈るお祝いの言葉とします。

みなさん、ごきげんよう。

2021年3月23日 福知山公立大学長 井口和起